



令和2年度 第1回まなびあいサロン

新型コロナウイルス感染症が終息しない中ではありますが、感染予防対策を十分に行い、6月30日（火）に、第1回まなびあいサロンを開催いたしました。みみちゃん教室や幼稚部の保護者の皆さんなど、14名が参加してくださいました。

テーマ：『きこえにくさを体験しよう』

講師：本校自立活動支援センター 教諭 小西真由美先生



きこえない体験

・ホワイトノイズを流したヘッドフォンを装着し、話を聞いてみました。

＜ 参加者の反応 ＞

- ・話の内容がまったく分からず、思わず笑ってしまいました。
- ・口形で読み取った単語から、内容を推測した。



口の動きの読み取り体験

・口の動きを見て、何を言っているかを当てるゲームをしました。

＜ 参加者の反応 ＞

- ・同じ口形のことばは読み取りが難しい。
- ・ヒントがあると理解につながる。
- ・長文は、短文に言い換える、絵など分かる手段で伝えるなど工夫が必要だった。その工夫が、思った以上に難しい。

☆きこえにくさが発達に及ぼす影響☆

- ◇言語発達への影響
- ◇コミュニケーションへの影響
- ◇社会性の発達への影響

☆聴覚系の脳の発達☆

- ◇言語獲得の時期は、脳の成熟と関係している。
- ◇**幼児期が最も可塑性に富んでいる。**
この時期に言語指導を始めることが大切！

～参加者の感想～

☆ きこえない、きこえにくいという状況がどれだけ不安で怖いということが、疑似体験を通して知ることができました。子どもに分かるように伝えるため、口の動かし方や視覚教材、話し方を合わせて伝えていくことがとても重要だと思いました。

☆ きこえ難さ体験によって聞く側のストレス、話してのストレスを共に体験できとても勉強になりました。大人と違い、いかにかみ砕いて伝えるかというのがとても難しいというのがすごく分かりました。